

駒門駐屯地創立66周年記念行事挙行



16式機動戦闘車との綱引きに挑戦する来場者の方々

好天に恵まれた令和八年四月二十五日(土)、駒門駐屯地創立66周年記念行事を挙行了した。今年の記念行事も、「自衛隊らしさとまつり」をテーマとし、地域住民への日頃の感謝、相互の理解及び信頼の醸成を図るとともに、駐屯地在隊部隊相互の融和と団結、隊員の士気高揚を図った。

来賓として、防衛大臣政務官の若林洋平議員を招いた他、地域住民の演目を含めたステージイベント、自衛隊らしさを遺憾なく発揮する野外イベント、防衛基盤の育成と駒門駐屯地の発展に尽力された功績を称える感謝状贈呈式、装輪・装軌車両装備品展示、96式装輪装甲車による体験搭乗と、模擬売店及び子供広場の開設により、老若男女誰もが楽しめるような場を設けた。

三四〇九人の来場者は普段体験することのできない非日常を楽しんだ。



富士学校音楽隊による演奏



富士岡幼稚園・竜幼稚園合同によるダンス



セレモニーにおける駒門駐屯地司令あいさつ



マッチョコンテスト



駒門駐屯地 歌姫・歌殿下 松屋士長・戸塚3曹



くじら。工務店によるダンス



装輪車両装備品展示



96式装輪装甲車による体験搭乗



広報

駒

KOMAKADO

門

発行所

駒門自衛隊協力会
事務局：富士岡支所
TEL 0550-87-0976
裾野市自衛隊協力会
事務局：裾野市役所
TEL 055-995-1874

連絡所

駒門駐屯地広報
〒412-8585
御殿場市駒門5-1
TEL 0550-87-1212

印刷所

エビスLLC
〒412-0021
御殿場市二枚橋312-1
TEL 0550-70-0022

駒門駐屯地の皆様、今年も早いもので半分が過ぎようとしています。連日の勤務誠に御苦労様です。駐屯地も色々と様変わりをしている様で、特に国道二四六号を通ると自動車教習所が新しく建設されている事がよく見えます。大変な工事である事がよく分かります。駒門駐屯地は、西側に国道二四六号、東名高速、新東名高速という、国内でも有名な道路が三本も通っており、そこから駐屯地の敷地内がよく見えることが知られています。特に駐屯地内の戦車や装甲車等が人気があるようです。

今回は裾野市自衛隊協力会の事を書いてみます。県内には三十三の協力会があり、会員数が約三万人であり、御殿場市、小山町には各駐屯地(駒門、板妻、滝ヶ原、富士)の四コがあり、会員数が約八千人となっていて、単独の協力会としては、裾野市自衛隊協力会が三九三一人で県下最大の協力会であります。私たちはこれに満足せず、より多くの会員増加を計り、充実した協力関係を求めてまいります。よろしくお願いいたします。



会長 志村 宏之

会長ごあいさつ

駒門駐屯地は、今年で創立六十六年を迎えられ、地域住民と強固な協力関係を築いていただいております。今年度からは、隊員の皆さんが駐屯地の外で体力錬成をされる際に「見守り隊」としての活動をしていただいておりますこと、誠に頼もしく、かつ感謝申し上げます。「行動して評価される時代」となり、隊員の皆さんが感じているプレッシャーは、計り知れないものがあると思います。だからこそ、協力会は「皆さんのために何ができるか」を常に考え、できることを確実に実行していきたいと考えております。富士岡地区で災害が発生した際には「近傍災害派遣」として救援をお願いすることもあろうかと思えます。また、隊員の皆さんが遠方に災害救援等に出向かれる際には、可能な限りの協力をさせていただくことが我々の務めと認識しております。今後とも「皆さんと共に歩む協力会」として活動して参りますことをお約束し、ごあいさつと致します。



駒門自衛隊協力会

会長 中川 修一

会長就任のごあいさつ

感謝状受賞者紹介

駒門自衛隊協力会

前会長

山田 宏二様

裾野市自衛隊協力会

常任理事

福田 徳二様

杉山家電

代表取締役

杉山 良知様

機甲教導連隊OB会

第四中隊委員

大西 広市様

機甲教導連隊OB会

第五中隊委員

佐藤 哲郎様

国際活動教育隊協力会

会員

勝又 純也様

国際活動教育隊協力会

会員

森野 勇様

国際活動教育隊協力会

会員

小田 信子様

中井町自衛隊協力会

会長

岸 光男様

小田原市自衛隊協力会

会長

加藤 仁司様

箱根町自衛隊協力会

副会長

安藤 健様

富士産業株式会社

代表取締役

中村 仁彦様

株式会社原田運送

代表取締役社長

原田 大志様

南急タクシー株式会社

代表取締役社長

三澤 慶子様

令和八年度モニター紹介

防衛モニター

静岡県磐田市

石田 康幸様 (任期二年)

駐屯地モニター

静岡県御殿場市

山田 宏二様 (任期一年)

静岡県裾野市

松井 昭裕様

駒門駐屯地

ギャリソンゲームズ



分隊バトルロワイヤル



サバイバルチャレンジ



優勝杯受賞



総合優勝「チーム駒門」

令和八年五月十二日、滝ヶ原駐屯地及びキャンプ富士で行われた「ギャリソンゲームズ2026」に、駒門駐屯地から選抜された精鋭達がチーム駒門として参加した。

本事業はキャンプ富士と富士地区五ヶ所駐屯地の交流イベントとして実施され、耐久力チャレンジ、サバイバルチャレンジ、分隊バトルロワイヤル、障害走、情報収集、接近・潜入、長縄跳び等七種目で競い合った。参加者は部隊の垣根を越えて、チーム一丸となり優勝を目指し奮闘した。

チーム駒門は、七種目中、一位を三種目、二位を二種目勝ち取り見事優勝することができた。

勝敗に関わらず、この日集まった人々との親睦を深めるとともに、海兵隊と自衛隊との日米交流を通じた信頼関係を醸成することができた。

国際活動教育隊

女性隊員の日開催



有蘭氏による講話



全体発表

国際活動教育隊は、三月六日、「国際女性デー（三月八日）」に連繋して、令和七年度「国際活動教育隊女性隊員の日」を開催した。

「国際活動教育隊女性隊員の日」では、講師をお招きして部隊勤務や国際任務での経験に基づく講話を拝聴し、「女性活躍推進（WPSを含む）」に係る隊の意識を更に高めるとともに、グループ討議及び全体討議を通じて隊員相互の意見交換を行った。

この日は、元陸上自衛官で国連南スーダン共和国ミッシン（UNMISS）司令部要員などの要職を務めた予備自3等陸佐 有蘭光代氏をお招きし「WPS（女性・平和・安全保障）／任務の「死角」に気づく視点」をテーマに講話いただいた。自衛隊在職中の女性隊員としての経験に基づく教訓から、教育者として着意すべき視点や、自衛隊の多様性の在り方を考えさせられ、隊員にとって大きな学びとなった。

意見交換会では、講師の講話内容を踏まえ、隊務運営上の具体的な取り組みなどを階級・男女別に分かれてグループ討議した後、全体発表を行った。各グループから、全ての隊員にとって働きがいのある勤務環境や人事施策の整備・改善等、具体的な施策が多く案出された。その後の全体討議では、防衛省ジェンダー・フォーカルポイント研修に参加した女性隊員が司会進行を務め、男女間における認識の差や無意識の思い込みの排除について議論し、男女間の認識共有、相互理解の促進の一助となり、より良い勤務環境の醸成に向け認識を新たにした。

隊は、本事業を通じて得られた知見を踏まえ、隊務及び教育における女性活躍推進ならびにWPSの取り組みを一層深化させて参ります。

機甲教導連隊

令和八年度富士総合火力演習



躍進する90式戦車



監的作業



師団長に対する状況報告



UAVからの防護（短SAMネット展開）

連隊は、令和八年五月十八日から六月七日までの間、第二施設団、第一四普通科連隊、第一偵察戦隊大隊及び第一〇偵察戦隊大隊の支援を受け、令和八年度富士総合火力演習に参加した。五月十八日より開始した機能別訓練においては、偵察隊、戦車・機動戦車小隊等が射撃に連携する機動訓練を実施、五月二十五日から行われた富士教導団統制の実弾射撃訓練等において、その成果を発揮し、着実に練度を向上させ、六月七日の教育演習において、諸職種協同による火力戦闘の実相を在校生等多数の研修者に披露して演習の目的達成に寄与した。演習成功の裏には、昼夜を問わず戦車等の整備を実施する整備部隊や標的の設置、弾薬の補給、炊事、停弾堤を整備する支援部隊等の存在があり、黙々とそれぞれの任務を完遂していた。連隊は、訓練最盛期を迎え引き続き教育研究支援任務、各種事態への対処を完遂できるよう職務に邁進する。

大隊は五月三十一日から六月三日までの間、北・東富士演習場、朝霞訓練場及び防衛大学校において広範囲にわたり展開し、師団訓練検閲を受閲した。

大隊はCMやUAV等、近年多様化する脅威への対応としてあらゆる対策を検討・創意工夫し、昨年度から段階的に訓練を重ね本検閲に臨んだ。

検閲間において各中隊及び直轄小隊は第一高射特科大隊長（富永2佐）の要望事項である「一意専心」を掲げ「間断なき掩護態勢の確立」、「健康性の保持」、「安全管理・健康管理」を隊員一人ひとりに確実に実行させる方面高射特科隊との連携のもと、敵の経空脅威等から健在しつつ首都圏の重要防護施設の対空掩護を実施した。また、通信網を駆使して広範囲における対空戦闘組織を構成・維持するとともに、築城、偽装及び小移動等の対空防護を徹底し、被害の極限を図り、これまでの訓練の成果を存分に発揮し本検閲を終了した。

転入指揮官紹介

国際活動教育隊長



1等陸佐 三島 健司

防衛大学校（横須賀）から

転出指揮官紹介

国際活動教育隊長

1等陸佐 曾根 勉

転出先…陸上総隊司令部（朝霞）

予定年退官者

国際活動教育隊

3等陸佐 浅野 渉

機甲教導連隊

陸曹長 谷口 清孝

高射直接支援隊

1等陸曹 吉野 宏

富士地域援護センター

令和八年八月十二日（水）

駒門駐屯地業務隊

2等陸曹 浦山 和意

令和八年九月十九日（土）

1等陸尉 本多 敬範

令和八年十月八日（木）

1等陸曹 岩佐 友明

令和八年十月九日（金）

祝 1万人突破!

フォローお願いします!